

ROSE

富士市発エンターテインメント情報誌 ロゼ
2025 Summer Vol.132

TAKE
FREE
無料

ROSE

■ 富士市文化会館ロゼシアター 「情報誌ロゼ」 2025年6月発行(第132号・夏号)
■ 発行/公益財団法人富士市文化振興財団 〒416-0953 静岡県富士市藤原町1750番地 TEL:0545-60-2510 ■ 企画・編集・制作/公益財団法人富士市文化振興財団 タイムデザイン



INTERVIEW

ともはる

牛田 智大

ともはる 牛田 智大

Tomoharu Ushida / Piano

2025年9月5日(金)に開催します
「ワルシャワ国立フィルハーモニー管弦楽団」
ソリストを務める牛田智大さんにお話を伺いました。

Profile

2018年11月に開催された第10回浜松国際ピアノコンクールにて第2位、併せてワルシャワ市長賞、聴衆賞を受賞。2019年3月、第29回出光音楽賞受賞。

1999年福島県いわき市生まれ。父親の転勤に伴い生後すぐ上海へ渡り6歳まで育つ。

2012年2月(12歳)、第16回浜松国際ピアノアカデミー・コンクールにて最年少1位受賞。以降、本格的に演奏活動始める。

2012年3月、クラシックの日本人ピアニストとして最年少12歳でユニバーサル ミュージックよりCDデビュー。「愛の夢〜牛田智大デビュー」(2012年)、「想い出」(2012年)、「献呈〜リスト & ショパン名曲集」(2013年)、「トロイメライ〜ロマンティック・ピアノ名曲集」(2014年)、「愛の喜び」(2015年)、「展覧会の絵」(2016年)、「ショパン：バラード第1番、24の前奏曲」(2019年)、「ショパン・リサイタル2022」(2022年)をリリースし、2015年「愛の喜び」以降、続けてレコード芸術誌の特選盤に選ばれている。

これまでに、国内の著名な指揮者およびオーケストラと多数共演を重ねたほか、シュテファン・ヴラダー指揮ウィーン室内管弦楽団(2014年)、ミハイル・プレトニョフ指揮ロシア・ナショナル管弦楽団(2015年/2018年)、小林研一郎指揮ハンガリー国立フィルハーモニー管弦楽団(2016年)、ヤツェク・カスプシク指揮ワルシャワ国立フィルハーモニー管弦楽団(2018年)各日本公演のソリストを務めるなど、全国各地の演奏会で活躍。その音楽性を高く評価され、2019年5月にはミハイル・プレトニョフ指揮ロシア・ナショナル管弦楽団のロシア公演や、8月にワルシャワ、10月にブリュッセルでのリサイタルに招かれた。2024年1月には、トマーシュ・ブラウネル指揮ブラハ交響楽団日本公演のソリストとして4公演に出演予定。

今までに、NHK総合テレビ「プロフェッショナル 仕事の流儀」ほか、様々な番組や媒体でその活動が紹介されている。

2019年に20歳を迎え、これを記念し2020年8月31日に東京・サントリーホールでソロリサイタルを行い大成功を収めた。また2022年3月、デビュー10周年を迎えて開催した記念リサイタルは各地で好評を博すなど、人気実力ともに若手を代表するピアニストの一人として注目を集めている。

ローム ミュージック ファンデーション2023年度奨学生。江副記念リクルート財団第53回奨学生。

2025年4月、第51回日本ショパン協会賞を受賞。



ロゼシアター
on demand

ロゼシアターのさまざまな情報を
デジタルコンテンツでお届け！
最新情報の一部をご紹介します。

～YouTube Vol.13～

2020年にスタートしたYouTube「ロゼシアターチャンネル」では、現在約160本の動画を公開しています。ロゼシアターの主催する市民ミュージカルのほか、市民演奏家によるコンサートやアウトリーチ事業の様子などをお届けしています。

おでかけロゼシアター

「おでかけロゼシアター」は、文化会館を飛び出して公募した施設にアーティストが出向き、地域の皆さんの目の前で生演奏をお届けする企画です。2025年1月27日と28日に開催したコンサートの模様をお楽しみください。



—出演—

清水優奈(トランペット)、森下愛梨(トロンボーン)



—出演—

剣持まい(ヴァイオリン)、鈴木茉奈実(ピアノ)



チャンネル登録お願いします!!
YouTube「ロゼシアターチャンネル」



ロゼシアターでの演奏は二〇二三年以来です。いかが過ごしてでしょうか。

二〇二三年の秋から、ワルシャワに通い、ピートル・パレチニ先生のレッスンを受けています。先生とは九歳の頃に初めてお会いし、演奏の速さや強さではなく、「静寂を大事にする」という音楽性の核を築く指導を受けました。デビュー以降はモスクワ音楽院の教授陣から、スケールを大きくしたり、バワフルな音楽が活きるよう学んできましたが、原点に立ち戻り静寂を大事にすることを学び直しました。今は多様な指導が自分の中で落ち着いて、バランスの良い状態だと思っています。

また、新たに取り組んだこととして、室内楽を学びました。音楽の究極の到達点は、『自然であること』と言われますが、自然さで狙って作るのは難しいですね、基本的にすべては恣意的なもので。

特にピアノは、打楽器としての特徴があり自然さからとても遠い楽器です。例えば、一度出した音を後から膨らませることはできません。そうした克服すべき課題や特徴があります。

対照的に、弦楽器は人間の声に次ぐ、自然な響きに近い楽器です。弦楽器奏者との演奏は、音楽の本質に近い、音楽の本来あるべき姿みたいなものを学べる機会なんです。

今回演奏するショパンのピアノ協奏曲第一番は、編成も比較的小規模ですし、弦楽器との親密な絡みがある室内乐的な協奏曲です。そういう意味でも室内楽で学んだことをお聴きいただけると思います。

ピアノ協奏曲第一番のぎざぎざを教えてください。

ショパンの作品は中期〜後期の精神的にも成

ツアー中に気を付けていることは

ツアーが始まると練習時間が限られるので、事前に演奏プランを固め、練習し、ツアーに臨む準備をすることがパフォーマンスを維持する上で肝心です。

私は食べ物や睡眠時間の変化に影響されることはあまりないのですが、ショパンを演奏するツアーでは、中心線をずらさないよう姿勢を維持することを意識しています。ショパンは特別な音楽家で、彼の曲は自分の中の小さな変化が全て音に現れてしまいます。移動中の姿勢が悪くて体の重心が傾いたり、寝るときにちよつと姿勢がずれたりすると途端に弾けなくなるパッセージ（※節と節をつなぐフレーズ）があつたりするの

がショパンなのです。

ショパンがプログラムに入るツアーの時は、ピアニストの仲間内でも「大変だね…」「今ショパンのツアーの前だから誘うのやめておこう」みたいなやりとりがあつたりします（笑）

ショパンはピアニストにとっては特別な…怖い作曲家ではあります。一回準備ができてしまえばそう簡単に崩れない作曲家、例えばラフマニノフやリストと違い、ショパンは本当にあつという間にバランスが崩れます。

そのように気を使うことが求められる作曲家であるからこそ、特別な緊張感を与えてくれるというか、演奏家を真摯な気持ちに戻してくれる、もつといえは成長させてくれる作曲家だと思っています。



お客様に向けてひと言 お願いします。

今回のプログラムはショパンとドヴォルザークの、西スラヴ地域の作曲家によるスラヴ的な情景描写が描かれる作品です。スラヴのオーケストラとともに演奏するスラヴの情景描写的な作品を、美しい富士市の景観の中、素晴らしい音響のホールで一緒に楽しんでいただきたいです。オーケストラもホールの雰囲気や音が変わります。美しい場所での演奏はきつと素晴らしい音になりますので是非お楽しみください。皆さまのご来場をお待ちしております。

ありがとうございました。

取材協力／スタインウェイ&サンズ東京
取材・文／篠原 正人
撮影／長橋 睦

熟した時期の作品が広く愛されていると思います。

今回演奏するピアノ協奏曲は初期の作品で、社会的にはポーランドの革命（一八三〇―一八三一年）があり、ショパン自身も妹と親友を立て続けに失うなど、精神的に不安定な時期の作品です。ショパンコンクールなどで華やかなイメージが少し先行してるところがありますが、ショパンの意図としては、いくらか殺伐とした作風なんです。

そういったあまり注目されない、革命前夜の砂埃の香りがする雰囲気や、ショパンの精神的に荒んでいるパーソナリティに寄せてみたら面白いと思つて準備しています。

とはいえ、音楽家ショパンは芸術的良心を持っていたと評されます。荒れた感情や苦しみを音楽にこめる時でも、それをとても洗練された形でしか音楽に落とし込まないのです。そうした音楽家としてのショパンの矜持・スタイルを維持しつつ、人間としてのショパンのパーソナルな部分を感じて貰えるように弾きたいと思っています。

今回一緒に演奏するスウコフスカさんは若くクリエイティブな指揮者なので、そういうアイデア・挑戦も楽しんでもらえるかと期待しています。



©Grzegorz Mart

【プログラム】ショパン：ピアノ協奏曲第1番 ホ短調 op.11
ドヴォルザーク：交響曲第9番 ホ短調 op.95「新世界より」

※内容は変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

公演情報

ワルシャワ国立フィルハーモニー管弦楽団

【日 時】2025年9月5日(金) 開場18:30 開演19:00

【会 場】ロゼシアター 大ホール

【出 演】アンナ・スウコフスカ・ミゴン(指揮) 牛田智大(ピアノ)

【入場料】(全席指定・税込)

S席一般 11,000円 S席学生 5,500円

A席一般 8,800円 A席学生 4,400円

※未就学児入場不可 ※学生は25歳以下対象

【発売日】6月29日(日)10:00~WEBのみ

※窓口は6月30日(月)10:00~

主催：公益財団法人富士市文化振興財団 共催：富士市 後援：富士市教育委員会、富士宮市教育委員会 助成：文化庁 劇場・音楽堂等における子供舞台芸術鑑賞体験支援事業

浦久俊彦（うらひさ としひこ）

文筆家、文化芸術プロデューサー。愛知県教育委員会教育アドバイザー、一般財団法人欧州日本芸術財団代表理事、文化芸術系人材育成コミュニティ「ダ・ヴィンチの学校」学長。代官山未来音楽塾塾頭。2021年3月、サラマンカホール音楽監督として企画した『ぎふ未来音楽展2020』が、サントリー芸術財団第20回佐治敬三賞を受賞した。著書に『138億年の音楽史』（講談社）、『フランツ・リストはなぜ女たちを失神させたのか』『悪魔と呼ばれたヴァイオリニスト』『ベートーヴェンと日本人』（以上、新潮社）、『オーケストラに未来はあるか（指揮者・山田和樹との共著）』（アルテスパブリッシング）など。最新刊は『リパラルアーツ〜遊びを極めて賢者になる』（集英社インターナショナル）。



KATALOG 語るく ～開演ベルが鳴る前に～

音楽、演劇、ミュージカル、伝統芸能まで一。
人と人とをつなぎ、感動を共鳴させてきた劇場文化。
その魅力を、多彩な分野で活躍する
文化芸術プロデューサーが縦横無尽に語りかける
気楽なエッセイ。新連載の開幕です。
ごゆっくりお楽しみください。

新連載
Vol.1



『新世界交響曲』が聴きたい！



『新世界交響曲』世界初演ポスター



『新世界交響曲』初演当時のカーネギーホール

『新世界交響曲』の魅力とは？まずは何といつても全曲を貫く途方もなく強靱なエネルギーです。その迫力は、まるで巨大な蒸気機関車がゆっくりと動き出し、白煙をあげて爆走する躍動感を思わせます。ドヴォルザークが無類の鉄道オタクだったことはよく知られていますが、とはいえ彼を現代の鉄道マニアと同一視するのは、やや無理があります。十九世紀ヨーロッパの人々にとって、鉄道の出現がもたらした革新的な衝撃は、現代人の想像をはるかに超えているからです。それまでの牧歌的な馬車の時

弦楽団（現ニューヨーク・フィル）によって行われました。多くのアメリカ人が、ヨーロッパの有名な作曲家の新作を待ち望んでいましたが、そこにあらわれた音楽は期待を大きく上回るもので、この初演は空前の大成功をおさめます。

でも、『新世界交響曲』の魅力は、それだけではありません。たとえば、第二章の牧歌的なテーマ。日本人であれば誰もがよく知る、おなじみの「家路」のメロディです。そこには、機械文明がもたらすエネルギーとは別の、でもたしかに濃厚なエネルギーに満ちています。それはいわば「大地のエネルギー」です。ドヴォルザークの作品には、一聴すると親しみやすいメロディが散りばめられているので、ともすれば軽くみられる傾

代から巨大な鉄の肉体を持ち、緻密なメカニズムにより長距離移動を実現した鉄道の時代へ。それはまさに、テクノロジーがもたらす未来への象徴だったのです。



指揮するドヴォルザーク

向がありますが、実は、これらふたつの相反するエネルギーを演奏で表現するのは至難のわざです。多くの指揮者たちは口を揃えて『新世界交響曲』を指揮するのはとても難しいと語ります。音楽的にも指揮のテクニク的にもたいてい難曲なのです。

機械文明がもたらす輝かしい未来へのエネルギーと、土の恵みとともに生命を育む大地のエネルギー。二十世紀という、高度な現代文明のなかに生きるぼくたちにとって、皮肉なことにはこのふたつのエネルギーは、もはや実感することが難しくなりつつあります。だからこそ、ぼくたちは『新世界交響曲』を聴きたいと思うのです。全曲からほとばしる躍動するエネルギーと生命のエネルギーこそが、この傑作の何よりの魅力ではないでしょうか。

浦久俊彦



ドヴォルザークの肖像

「日本でもっとも人気のある交響曲は？」というアンケートに必ずといっていいほど登場するのが、ドヴォルザーク交響曲第九番『新世界より』です。この作品が、なぜ人々の心に響くのか。実は、まだ幼かったばかりをクラシック音楽という深遠なる世界に引き寄せたのも、この『新世界交響曲』でした。ある夏の午後、小学校の古びた講堂にやってきた名もない管弦楽団。生まれてはじめてオーケストラなるものの

実演にふれて、まるで魂がふるえるような感動を味わったのが、この作品の第四章でした。大地を震わせるような低音の迫力に、思わず背筋がゾクゾクとした瞬間を、いまでもよく覚えています。

かの巨匠ブラームスを嫉妬させたほど豊かな才能の持ち主だったアントン・ドヴォルザーク（一八四一—一九〇四）は、深い森と豊かな農地に恵まれたボ

ヘミアの作曲家です。貧乏な家庭に生まれ、苦勞しながらも徐々に作曲家として認められ、音楽の都ウィーンへの移住を勧められても、それを断って小さな村での暮らしを好んだ、いわば田舎の純朴な作曲家だった彼は、こともあろうに五十一歳のとき、世界一の近代都市ニューヨークの音楽院院長に就任します。迷った末にこのオファーを承諾した彼は、家族とともにまさに新世界への旅路につきます。そして、ニューヨーク国民音楽院院長としてアメリカ滞在中に作曲したのが、『新世界交響曲』なのです。

記念すべき世界初演は、一八九三年十二月十六日。ニューヨークのカーネギーホールでアントン・ザイドル指揮のニューヨーク・フィルハーモニック協会管



ニューヨークに到着したドヴォルザークの家族

9月

ワルシャワ国立フィルハーモニー管弦楽団

ともはる

指揮: アンナ・スウコフスカ-ミゴン ピアノ: 牛田智大



日 時: 9月5日(金)
開場 18:30 開演 19:00

会 場: 大ホール

入場料: (全席指定・税込)

S席 11,000円 S席(学生) 5,500円

A席 8,800円 A席(学生) 4,400円

※未就学児入場不可

プログラム

ショパン: ピアノ協奏曲第1番 ホ短調 op.11

ドヴォルザーク: 交響曲第9番 ホ短調 op.95「新世界より」

※内容は変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください

©Joanna Galuszka
アンナ・スウコフスカ-ミゴン©Ariga Terasawa
牛田智大

ワルシャワ国立フィルハーモニー管弦楽団

助成: 文化庁 劇場・音楽堂等における子供舞台芸術鑑賞体験支援事業

静岡県立美術館
令和7年度移動美術展

会 期: 9月19日(金)~28日(日)
10:00~18:00

会 場: 展示室

入場料: 無料



前回の様子

9月

吉 幾三 コンサート 2025

日 時: 9月20日(土)

【昼公演】開場 13:15 開演 14:00

【夜公演】開場 17:15 開演 18:00

会 場: 大ホール

入場料: (全席指定・税込)

均一 7,500円

※未就学児入場不可



共

発売中

10月

絢香「Wonder! Tour 2025」

日 時: 10月4日(土)
開場 16:00 開演 17:00

会 場: 大ホール

入場料: (全席指定・税込)

均一 9,400円

※未就学児入場不可



発売日 WEB: 7月19日(土)
窓 口: 7月22日(火)

11月

ふじ寄席 神田伯山 独演会

日 時: 11月8日(土)

開場 13:00 開演 13:30

会 場: 中ホール

入場料: (全席指定・税込)

均一 4,000円

※未就学児入場不可



【先行抽選 受付】
9月12日(金) 10:00~
9月23日(火・祝)迄
※詳しくはホームページをご確認ください。

WEB購入手順

1 ロゼシアターホームページ <https://rose-theatre.jp> (24時間対応)

2 「ロゼフレンドシップ」へログイン ※「ロゼフレンドシップ」への登録が必要です

3 公演・座席選択 「座席指定して予約」より座席を選択可能

4 支払方法・チケット引取方法 選択 クレジットカード決済 ▶ 会館窓口またはセブンイレブン店頭引取が選択可
セブンイレブン支払 ▶ セブンイレブン店頭でチケット引取

※車いす席はロゼシアターへお問い合わせください ※発売初日は10:00からの販売となります ※購入後の変更・キャンセルはできません

EVENT SCHEDULE
2025

イベントスケジュール 2025年7月~11月

ロゼシアター主催・共催事業のご案内

7月

ジェイコブ・コーラー・トリオ
プレミアム・ライブ

日 時: 7月13日(日)

開場 14:00 開演 14:30

会 場: 中ホール

入場料: (全席指定・税込)

一般 3,800円 学生 1,900円

※未就学児入場不可

発売中



川村 竜 (ベース)



柴田 亮 (ドラム)



ジェイコブ・コーラー (ピアノ)

7月

劇団四季ミュージカル
『赤毛のアン』

日 時: 7月24日(木)

開場 17:45 開演 18:30

会 場: 大ホール

入場料: (全席指定・税込)

S席 10,000円

A席 8,000円

B席 5,000円

※3歳以上有料(ひざ上鑑賞不可)

※3歳未満入場不可

発売中



撮影: 阿部章仁

ロゼこどもサマーフェスティバル

7月

スタンプラリー

日 時: 7月30日(水)
10:00~14:00
(スタートは13:00まで)
会 場: 展示室・会議室
レセプションホール 他
入場料: 参加無料



前回の様子

8月

ホール探検隊

日 時: 8月7日(木)
10:00 / 14:00
会 場: 中ホール
入場料: 無料・要事前申込(先着順)
対 象: 小学生とその保護者
申込み: 7/14(月) 14:00~
(電話予約のみ)
中学生以上対象、大人のホール探検隊
8月6日(水) 19:00



前回の様子

8月

トレインフェスタ

日 時: 8月23日(土)
13:00~16:00
24日(日)
10:00~12:30
13:00~16:00
会 場: 展示室
入場料: 参加無料



前回の様子

9月

ロゼこどもコンサート

日 時: 9月13日(土)
【1回目】開場 10:00 開演 10:30
【2回目】開場 12:30 開演 13:00
会 場: 中ホール
入場料: (全席指定・税込)
均一 500円



前回の様子

※0歳から入場可
※3歳以上有料
2歳以下は保護者1名につき1名まで
ひざ上鑑賞無料

発売日 WEB: 7月13日(日)
窓 口: 7月14日(月)

ミュージカル 赤毛のアン

—公演情報—

劇団四季ミュージカル『赤毛のアン』

公演日：7月24日(木)

開場17:45 開演18:30

入場料：(全席指定・税込)

S席 10,000円

A席 8,000円

B席 5,000円

※3歳以上有料(ひざ上鑑賞不可)

3歳未満入場不可

発売中

ストーリー

舞台はカナダのプリンス・エドワード島アヴォンリー村。緑の切妻屋根の家、通称グリーン・ゲイブルズに住む年老いた兄妹マシューとマリラは、農作業の手伝いに孤児院から男の子を引き取ることにしました。ところがマシューが駅まで迎えに行くところまで待っていたのは、驚くほど夢見がちで思いついた空想を矢継ぎ早に語る赤毛の少女、アン・シャーリーでした。

空想とおしゃべりが大好きで、まっすぐな性格のアンは、家でも学校でもさまざまな事件を起こしてしまします。でもその明るく前向きな姿はしだいに周囲を魅了し、最初はとまどっていた人たちもアンのが大好きになっていきます。美しく移り変わるカナダの大自然と人々の愛の中で、心豊かに成長していくアン。そんな彼女にも、やがて大きな試練の日がやってくるのです…。



公演のみどころ

アンが教えてくれる大切なこと

アン・シャーリーといえば、そのキャラクターは「想像力豊か」という言葉で表現されることが多いでしょう。アンの手にかかれば、何てことない庭のりんごの木が「雪の女王」になり、ありふれた赤土の道も、「昔の戦で倒れた戦士たちの血潮に染まった道」という特別な存在に変わります。

アンの豊かな想像力は、単なる無邪気な子どもらしさの表れというだけではありません。たとえ避けることのできない悲劇的な事実に向き合っても、ただ絶望す



撮影：樋口隆宏

心が躍る！弾けるような音楽とダンス

本作の魅力は、そのストーリーやキャラクターだけではなく持ち前の想像力や行動力で今の時間を少しでも幸せなものにしようとするアンのひたむきさは、物語の随所に現れて心を揺さぶります。一瞬一瞬を懸命に生き、どのような境遇の中でも幸せを見つけに行くアンの姿は、困難の多い今の時代を生きる私たちにも大切なものを届けてくれることでしょう。

本作の魅力は、そのストーリーやキャラクターだけではなく持ち前の想像力や行動力で今の時間を少しでも幸せなものにしようとするアンのひたむきさは、物語の随所に現れて心を揺さぶります。一瞬一瞬を懸命に生き、どのような境遇の中でも幸せを見つけに行くアンの姿は、困難の多い今の時代を生きる私たちにも大切なものを届けてくれることでしょう。

キャラクター紹介

マリラ・カスバート

マシューの妹。アンと出会ってすぐの頃はそのおしゃべりな様子や、突拍子もない行動にあっけにとられ、孤児院へ送り返そうとしたが、やがて兄同様にアンを大切に思うようになり、厳しくも愛情をもって育てていく。



撮影：阿部章仁

マシュー・カスバート

手違いでアンを引き取ったが、アンに不思議な魅力を感じ、実の家族同様に愛するようになる。内向的でめったに外出しないが、アンとの暮らしの中で少しずつ変化していく。心臓に病気を抱えている。



撮影：阿部章仁

アン・シャーリー

想像力豊かでおしゃべり好きな女の子。両親を失い引き取られた先では邪魔者扱いされ、孤児院に送られたのちマシューたちに出会う。自身の赤毛とそばかすを「生涯の悲しみの種」と考えている。悲しいことも得意の想像で喜びに変えていく。



撮影：阿部章仁

ダイアナ・バリー

アンと同じ学校に通う心優しい黒髪の女の子。アンと出会い意気投合し、親友よりも大事な存在である「腹心の友」になる。母親のバリー夫人は厳格な性格。

ギルバート・ブライス

アンと同じ学校に通う男の子。赤毛をからかって「ニンジン」と呼ぶなど、本当はアンと仲良くなりたいのに、つい意地悪をしてしまう。とある出来事をきっかけにアンと心を通わせ合うようになる。

ステイシー先生

アンたちが通う学校の先生。野外授業で自然の中で生きて行くことの素晴らしさを教えてくれる。はやりのパフスリーブの服を着ており、アンにとっては憧れの存在。



撮影：阿部章仁



撮影：阿部章仁

世界が愛するあの名著を、色鮮やかなミュージカルに。
時代を超えて愛され、世界で読み継がれている「赤毛のアン」。一九〇八年に出版されて以来、日本でもたくさんのファンから支持されている作品です。二〇二四年には、作者のルーシー・M モンゴメリー生誕一五〇年を迎えたばかり。そんな名作から生まれた劇団四季のミュージカルをお贈りします。
繊細かつドラマティックな演出でストーリーや音楽の魅力余すことなく引き出し、本場カナダのスタッフからも「世界最高のアン！」と絶賛されたとおきの舞台です。

小川 亮 (おがわりょう)

※新進アーティスト作品展…静岡県内の18～35歳を対象とする美術の公募展
2025.3.1(土)～3.9(日)



受賞作品『落葉』



作品部分拡大

作者のコメントがあつて、選出されれば審査員の講評文があるところは、オリジナリティがあつてよいと思います。選

様々な公募展に参加していますが、この公募展はどうですか。

これまで複数回にわたり公募展に参加いただきましたが、今回の応募には今度こそという思いがあつたのでは。

今回リベンジという気持ちはありました。年齢的にも最後の年だと思っていたので必ず応募しようと考えていました。それが結果につながつてよかったです。審査員の講評文も嬉しかったです。今まで続けてきてよかったなと思いました。



PICK UP ARTIST

苦しいというよりは楽しみのほうが大きいですね。描いていて楽しいです。むしろ終わりにするタイミングがとても難しくて、そちらの方が苦しいと感じます。

抽象画は、自分の中で消化しないと最初のひと筆に行くまで生みの苦しみがあるのではないのでしょうか。

本格的に絵を描き始めたのは十六歳の高校の部活からです。以前から美術は好きでした。最初には具象を描いていましたが、大学時代は立体作品にも取り組むようになりました。そのあたりから抽象的な作品が増えてきて、二十代前半には抽象画が多くなりました。

現在の作風になつたのはいつ頃からですか。

て、その落ち葉の下の若い緑の葉が、新たな生命のように見えたのです。その時生命の誕生とは、死のあとに続くものなんだと感じました。生まれることと死ぬことはひとつのことではないだろう。同様に四季のつながりもひとつのことではないだろう。このような想いを一枚のキャンバスに融合させて、自然界のリズムと四季の移ろいを表現しました。



ばれても評のない公募展もありますので、作品について解説をお願いします。

キャンパが好きで山に行くことが多いのですが、冬に行った時ですが、冬に行った時落ち葉が積もつてい

日頃の創作活動について。

平日は会社員として働いています。仕事が終わってから創作活動をしています。少しでも時間があれば絵を描き、長い時は一、二時間考えたりする時もあります。仕事は全く違うジャンルなので、かえって気分転換になっているかもしれません。

創作意欲を掻き立てるものは何でしょう。

自然からインスピレーションを得ることは多いです。キャンプに行った山、自然のみどり、自分の内情、心情、人間関係などです。テーマは特に絞らずに自分が感じたことを表現しています。ひとりになつて「無」になることがいいようです。キャンプに行けない時たまに炎の動画を見ます。街を歩いたり、人がいるところでもインスピレーションはわきます。やはりアンテナを張つて、いろんなものを見ることが重要かと思っています。

今後のビジョンについて。

やはり続けていくことが重要で、これからも描いていきたいと思っています。機会があれば個展や展覧会に参加して、できれば展覧会を増やして自分の世界を表現していきたいです。より自分らしさが出せる機会だと思います。



表彰式の様子

次回開催時に
個展開催予定

静岡県立美術館 令和7年度移動美術展

会期／9月19日(金)～9月28日(日)

10:00～18:00

ロゼシアター1階 展示室

入場無料

移動美術展とは・・・

昭和61年の開館以来、静岡県立美術館が収集した所蔵作品は約3,000点にのぼり、常時、美術館にて収蔵品展を開催しています。しかし、静岡県は広く、美術館から遠く離れた地域では、作品を鑑賞する機会に必ずしも恵まれているとはいえません。この移動美術展は、開催地や周辺市町の地域住民の方々に芸術鑑賞の場を設け、県立美術館の作品に親しんでいただこうとするものです。



静岡県立美術館外観

伊藤若冲の《樹花鳥獸図屏風》(複製画)が大好評だった前回から三年ぶりに、三回目となる静岡県立美術館 移動美術展を九月に開催します。

一回目の平成二十八年では、富士山を描いた絵画を中心に静岡ゆかりの作家たちの作品に心打たれました。二回目の令和四年では、伊藤若冲、ロダン《考える人》(小型)の他、県内の現代美術作品に魅了されました。

フロアレクチャーは、学芸員の解説を聞きながら作品を鑑賞できるので、より理解が深まります。この時間に合わせて来館するお客様も多くいらつしやいます。

静岡県立美術館は、古今東西の風景画をはじめとするコレクションによって、風景の美術館として知られています。今回もそのコレクションの魅力に触れていただくため、鋭意企画中です。

移動美術展の良いところは、お住まいの近くで本格的な美術作品を無料で鑑賞できることです。この機会にぜひお出かけいただき、芸術の秋に親しんでください。

前回展示の様子



「令和7年度移動展」も乞うご期待!




Pick up vol.6 **ガレリア**

見せたい・伝えたいを形に

1階西側入口すぐ、道路に面した開放的な空間「ガレリア※」は、作品展示などに使える貸出スペース。大通りを行き交う人々の目にも自然と触れる抜群の立地です。

作品を発信する場として活用してみませんか？ご希望の際は、相談窓口までどうぞお気軽にご相談ください。※イタリア語でガラスの高い天井を持つアーケードの意



プレゼントのご案内

アンケートに回答いただいた方の中から抽選でチケットプレゼント！


Aコース 公演チケット1組2名様

対象公演：『ワルシャワ国立フィルハーモニー管弦楽団』
9月5日(金)19:00開演 (S席)

Bコース レストラン「ロゼテラス」お食事券(1,000円分) 2名様

■応募方法
右記QRコードから入力フォームにてアンケートに回答のうえ、ご応募ください。

■受付期間
6月14日(土)～8月4日(月)
※ご応募はおひとり様1件まで(重複がある場合はすべて無効)
※当選者にはご応募時のメールアドレスへご連絡いたします。



休館日のお知らせ

7月7日(月)・8日(火)
8月18日(月)～21日(木)
9月8日(月)

本誌は5月15日現在の情報です。最新情報はロゼシアターホームページ等でご確認ください。
■ホームページ <https://rose-theatre.jp> ■X「ロゼシアター公式アカウント」@rose_staff_fuji ■YouTube「ロゼシアターチャンネル」 ■LINE ロゼシアター【イベント】


ふじ・紙のアートミュージアム

三谷 純 展 **観覧無料**

開催期間：2025年7月14日(月)～ 9月21日(日)
開館時間：10:00～18:00
休館日
8月18日(月)～21日(木)、9月8日(月)
※ロゼシアター休館日に休館

『横あさ美展』6月29日(日)まで
□日程など変更する場合がございます。
□詳細はWebsite・Facebook・Instagramをご参照いただくか、お電話にてお問合せください。

ふじ・紙のアートミュージアム
〒416-0953 静岡県富士市夢原町1750番地 富士市文化会館 ロゼシアター内(1階東側奥)
TEL 0545-32-6581 FAX 0545-32-6582 <https://www.fuji-paperart.jp>



レストラン「ロゼテラス」

期間限定メニュー
＜6月1日から8月31日まで＞

◎夏野菜モリモリ
キーマカレー
スープ・サラダ付
1,580円

●ビーフシチューのオムライス 1,850円
●ポルチーニクリームパスタ 1,850円
●炭火焼鳥と彩り野菜のオムライス 1,580円
●アスパラとベーコンのアラビアータ 1,500円
●ツナと木の子の和風パスタ 1,480円

スープ・サラダ付

◆営業時間 11:00～15:00(ラストオーダー14:30)
◆場 所 2階レストラン(ロゼテラス)
◆お問合せ ロゼテラス TEL 0545-60-2727
※当面の間は月曜休店・ランチ営業のみ。
詳細は「ロゼテラス」ホームページをご覧ください。



編集後記


今回特集した劇団四季ミュージカル『赤毛のアン』を担当しています。先日、ひとあし先に東京公演を観劇してきました。つい仕事を忘れて見入ってしまうほど魅力にあふれ、ラストシーンにかけて涙がこらえきれずハンカチを握りしめてボロボロでした。ミュージカル公演という限られた時間の中、原作ファンからも高い人気を誇る名作であり、楽しく鑑賞できるおすすめの公演です。(松)

終了したロゼシアター主催事業の様子をお届けします！ 2025年2月～4月をフラッシュバック！！

ロゼ富士山こども将棋大会

2月11日(火祝) 13:00


- 初めての将棋大会で緊張しながらも頑張れてよかった。(10代 参加者)
- この大会が将棋を頑張るモチベーションになりました。(10代 参加者)
- 子供が一生懸命に頑張れる機会を得られてよかった。(40代 保護者)



新人音楽家による演奏会2025

3月14日(金) 18:30開演


- 地元から素晴らしい若い方が出るのには本当に嬉しい事です。(50代)
- 普段クラシックを聴く機会が無いので、生演奏の迫力に圧倒されました。(50代)
- 若い方の素晴らしい演奏を聴けた。これからの成長、活躍を期待します。(60代)



新進アーティスト作品vol.23 Art Generation2025

3月1日(土)～9日(日)


- 若いアーティストのパワーが感じられました。(50代)
- このように作品を出品する機会があれば、芸術を志す方の励みになると思います。(60代)
- どの作品もそれぞれ作者の想いの強さを感じました。(20代)



ロゼこどもスプリングコンサート

4月12日(土) ①10:30開演 ②13:00開演

- 大人も子供も楽しめる内容で良かったです。(30代)
- テンポがとても良く、子供も少しも飽きることなく最後までとても楽しんでました。(40代)
- 子供は初めて生の演奏を聴きました。45分という時間も丁度良かったです。(30代)



フラッシュバック 特別編

普通救命講習 & 消防訓練

ロゼシアターでは、スタッフに向け定期的にさまざまな講習や訓練を実施しています。

◆普通救命講習 (2025年2月)
消防署員の専門的な指導の下、心臓マッサージやAEDの操作手順を学びました。実際に電極パッドの装着や電気ショックの実施を体験することで、緊急時に迅速かつ適切に対応できるよう備えています。

◆消防訓練 (2025年3月)
火災などの災害時に備え、計画的に消防訓練を行っております。今回は館内で火災が発生した場合を想定し、お客様をスムーズに避難誘導する訓練を実施。防火設備も実際に稼働させ、操作方法も再確認しました。

